



G

GOVERNOR's

MONTHLY

LETTER

vol. **11**
2020.5



2019-20年度 国際ロータリー
第2710地区 ガバナー

晝田 眞三

4月号でもお伝えしましたが、新型コロナウイルスの影響により国際大会まで中止の決定がされました。ハワイ州政府は来てほしくないということですので止むを得ません。地区でも多くの行事が中止・延期となり、前号で紹介したRYLAについても海外からの参加者はゼロとなり、議論することに重点を置いたプログラムの実施は無理との判断で、中止の決定をしました。ご理解のほどお願いします。

ここで青少年交換プログラムの現状についてお知らせします。ご承知のようにクラブ同士が高校生の留学を世話するものですが、地区内で今年は6クラブからインバウンド(海外から日本へ留学)6名・アウトバウンド(日本から海外に留学)6名が留学しています。

3月9日付で(一社)国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構/RIJYEM理事長・鈴木孝雄氏の名でメールが届きました。新型肺炎の影響から「来日学生全員を早急に彼らの母国に帰国させる」との基本方針を伝えるものです。これを実現するためには関係者である保護者・各クラブ・地区の意見を尊重しながら合意事項を実行しなければなりません。一方的な指示命令でなく合意が必要です。地区としては直ちに、受け入れているクラブを通して、本人・保護者に基本方針に従ってもらよう伝えました。しかしこの時点では日本の34地区だけでの話でしたので、米国等相

手国のロータリーとは考えが一致していませんでした。

米国・ミネソタ州で長年、我々の地区との交換学生のお世話をいただいている田村 惇さんの3月18日着信メールによると、

「NAYEN(北米青少年交換委員会)からの通達では滞米中のロータリー交換学生は本人と両親が残留を望めば帰国を促す必要はないとのこと。従いまして5950・5960地区では全ての残留希望学生を留めることにしました。何卒その様にお取り計らい下さい。日本での決定事項を覆す様なことになってしまい心苦しいのですが、宜しくお聞き届けください、お願いします。」

この時点ではRIJYEMの方針は日本だけの方針で噛み合わず、足並みは揃わず、板挟みになった河田将人/地区青少年交換委員長にはたいへんな目に遭わせてしまいました。

しかしトランプ大統領の対策、ニューヨーク州を始めとする全米での感染者増大、イタリア・スペインを始めとするヨーロッパでの死者増加と医療崩壊と日々事態は深刻化していきます。米国でも事態の深刻さへの理解が進みつつあり、ミネソタ州の留学生は3月21日急遽、方針が転換され帰国に同意してくれました。

まだまだ全てが決着する状況ではありませんが、本人の安全を第一に考えてのことながら関係者にとって、道半ばでの帰国はつらいものがあります。



【contents】

ガバナーメッセージ	1	特別コラム	3
青少年奉仕月間によせて	2	新会員紹介	4
会員増減 出席率	3	地区大会広告	4



青少年奉仕月間によせて

国際ロータリー第2710地区 青少年奉仕カウンセラー・パストガバナー 金子信

『6年間のまとめ』

最近私はこんな文章を目にし、印象深い記憶になっています。

それは某血液センターの所長さんが献血をより推進する為に懸賞金制度を発案されたそうです。ところが現実は今全くその意に反して増えるどころか逆に減少してしまったという結果でした。理由は、いうまでもなく、献血とは尊い人の命を救う目的で、自らの大切な血液を無償で提供すること。つまり市井の人々の善意によって成り立っていることであって、買血的な感覚と混同した浅はかな考えを反省されたとのことでした。

しかしここで立ち止まって、私なりに少し掘り下げて考えてみたいと思います。それには直感的な解決策として二通りが考えられます。一つにはそんな懸賞金はすぐに取り止めて、概していう性善説へ更に導くこと。二つには懸賞金をより高額にして、突き進むべきか……。私は今日の社会現象を観ると残念ながら後述の方がまかり通っているように思えてならないのが心配でなりません。

ここで遙か遠く昔の論語にあるように、まさに『君子は義よきことに喩り、小人は利に喩る』とあります。私達のロータリー活動は遠廻りしてでも人々の善意によって成り立つ『健全な社会建設』を目指していかなければなりません。

近年グローバル化、ITの発達によって情報化社会、今やAI時代に入ったとまでいわれています。確かに今日の経済活動、その他の分野のデジタル化傾向をもう誰も止めることは出来ないでしょう。しかし、どんな時代でも人として、この世に生あって、『いかに生くべきか』を考えた時、古典が今もそのまま生きている現実を思う時、その価値観は『ある日突然、音を立てて、崩れゆく』ものでは決してないと、私は確信しております。その視点からすると今や大事な過渡期ともいえるでしょう。

私の職業分類は建築設計です。建築用語に『踊り場』があります。それは建築で上階に昇る階段の途中に設置するのですが、その目的は途中一息入れることや、たとえ転んでも被害の低減等に役立つためのものです。そこで時代の流れとしての踊り場は、先程、時代の過渡期と述べましたが、今迄昇って来た踏面段板ふみづら(歴史)を見返し、又次に上り進む蹴込段板けこみ(未来)も一望出来る場所に喩えられます。時代の大きな節目(過渡期)としてしっかり深呼吸をしなくてはならない場所でもあると思われてなりません。

そこで自らにこの6年間、青少年奉仕活動のカウンセラーとしての任務を頂きましたが、終わりに当たって私のガバナー当年度(07~08)のテーマ、『学びて、問う』について改めて申し述べたいと思います。学問とは学ぶという行為に加えて自らに問いかけなくてはなりません。更には実践が伴います。つまりそれらのバランスがとれてこそ真の学問であると解かれています。今から160年前、我がお膝元、萩の吉田松陰先生は毛利藩の一兵学者にとどまらず、その時代を洞察し、国を憂い、青年志士に学問を施し、奮い起こして、明治維新の原動力となりました。松陰先生は弟子達と共に学び、夜を徹して議論を交わしたとあります。更に自ら行動を興したのです。つまり松陰先生の学問は今、我何を成すべきかという時務じむの解決の為の学問です。私達ロータリー活動も切り口は違えども共通点も多いと感じます。今まさに学びて自らに深く問いかけ続け行動を起こすことこそ大切です。

私もこの6年間若者の皆さんにあつかましくも色々問題提起として述べさせて頂きました。今日更に新しい病原菌(コロナウイルス)が大きな社会問題として発生しています。次代を担う青少年こそ『今や大きな節目の時』と改めて訴えて、私の任を終えたく思います。大変お世話になりました。



国際ロータリー第2710地区 2019-20年度会員増減・出席率(2020年3月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
1	長門	86.57	24	24	4	0	0
	下関	66.34	44	44	1	3	3
	下関中央	70.26	36	39	8	3	0
	下関東	66.17	61	59	3	0	2
	下関北	89.03	44	43	0	1	2
	下関西	74.86	33	33	0	4	4
	計	75.54	242	242	16	11	11
2	萩	92.74	48	51	1	5	2
	萩東	92.70	26	24	0	0	2
	美祿	80.42	24	23	1	1	2
	小野田	82.70	37	40	2	3	0
	宇部	92.35	44	44	2	2	2
	宇部東	65.17	13	13	2	0	0
	宇部西	78.66	50	49	3	1	2
計	83.53	242	244	11	12	10	
3	防府	82.14	59	60	1	2	1
	防府北	86.57	25	25	3	1	1
	防府南	65.55	38	41	6	4	1
	山口	77.34	50	50	4	3	3
	山口県央	86.49	31	30	1	0	1
	山口南	80.77	45	44	5	0	1
	計	79.81	248	250	20	10	8
4	光	87.66	52	49	0	0	3
	周南西	80.42	54	55	6	6	5
	徳山	98.70	43	44	1	5	4
	徳山セントラル	83.81	26	25	1	2	3
	徳山東	100.00	50	49	0	6	7
	計	90.12	225	222	8	19	22
	5	岩国	82.22	63	61	0	3
岩国中央		85.43	37	37	3	1	1
岩国西		88.88	57	57	4	3	3
柳井		100.00	30	33	3	4	1
柳井西		88.63	27	26	3	0	1
計		89.03	214	214	13	11	11
6		広島	88.16	114	116	1	15
	広島安芸	85.71	43	45	3	2	0
	広島安佐	86.68	21	20	1	2	3
	広島東	88.37	114	109	8	6	11
	広島北	86.02	99	101	0	5	3
	広島陵北	97.61	54	56	3	2	0
	大竹	85.37	32	28	0	0	4
計	88.27	477	475	16	32	34	
7	広島中央	88.67	74	76	7	5	3
	広島廿日市	92.94	33	30	3	1	4
	広島城南	100.00	44	43	3	1	2
	広島南	100.00	89	91	0	5	3
	広島東南	88.89	100	96	14	9	13
	広島西南	99.53	67	71	3	5	1
	広島西	88.60	85	87	3	4	2
計	94.09	492	494	33	30	28	
8	江田島	88.44	18	18	0	0	0
	東広島	97.06	31	28	3	1	4
	東広島21	69.70	17	19	4	2	0
	呉	80.06	72	70	1	4	6
	呉東	73.40	35	33	1	2	4
	呉南	91.28	61	60	2	3	4
	西条	98.57	36	35	2	3	4
計	85.50	270	263	13	15	22	
9	広島空港	72.76	29	29	3	0	0
	因島	91.87	19	17	0	0	2
	三原	80.05	59	57	0	1	3
	尾道	65.46	85	76	2	3	12
	尾道東	87.61	56	56	7	0	0
	瀬戸田	65.00	5	4	0	0	1
	竹原	80.10	25	18	3	0	7
計	77.55	278	257	15	4	25	
10	府中	92.94	27	26	2	1	2
	福山	95.24	84	83	0	6	7
	福山東	72.15	48	48	3	2	2
	福山丸之内	97.10	29	29	1	1	1
	鞆の浦	87.44	22	23	0	1	0
	福山REC2710※	91.09	19	19	3	1	1
	計	89.33	229	228	9	12	13
11	福山赤坂	69.42	52	53	6	3	2
	福山北	86.56	40	40	0	1	1
	福山南	83.07	51	58	3	8	1
	福山西	85.80	38	36	2	0	2
	松永	90.72	53	52	2	0	1
	計	83.11	234	239	13	12	7
	吉舎	92.56	15	16	0	1	0
12	三次	80.05	37	34	0	1	4
	三次中央	94.63	39	38	5	2	3
	庄原	90.13	34	33	4	0	1
	東城	84.32	18	18	1	0	0
	計	88.34	143	139	10	4	8
	第2710地区計	85.10	3294	3267	177	172	199

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」

「青い熊」

特別コラム

広島東ロータリークラブ 高橋昭八郎(マツダ(株)顧問)

随分、昔の話で恐縮だが、14、5年前、マツダは韓国の起亜自動車と全面的な技術提携を結んでいた。私は当時、購買関係の仕事に携わっていた。あらゆる技術を提供するについて大問題が発生した。技術供与のライセンスフィーの交渉の場で彼等の言い分は「日本文化の形成過程で、韓国の貢献があった。今度は日本が教える立場だからライセンスフィーは支払わなくていい筈だ」と言うもの。民族はそれぞれの歴史を背景に様々な価値観を持っており、それを一方的に無視する訳にはいかないとされる。最近の日韓関係が極めてぎくしゃくしているのはご承知の通り。そこには価値観の相違があることも原因の一つかもしれない。

一方で、以下のような興味深い話もある。起亜自動車協力会の会長H氏から食事をしながら聞いた話は極

めて印象的であった。「戦時中、小学校で教えて貰った日本人の先生はとても素晴らしい人で訪日した際、久しぶりに先生を訪ねた。その時、先生に、何か宝物を下さいとお願いしたところ、『青い熊』をくれた。『あ』あせるな、『お』こるな、『い』威張るな、『く』腐るな、『ま』負けるな、これで『青い熊』。私は今でも、この『宝物』を大切に行動指針としている。」

日韓関係について政府レベルの外交が重要であることは論をまたないが、心と心の触れ合いを原点とする民間外交こそが友好親善にとって有効な手段ではないだろうか。

昨今、全国のロータリークラブで様々な形で「日韓友好の会」が催されているのは、極めて意義深いことだと思われる。

国際ロータリー
第2710地区事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/

お詫び

新型コロナウイルスによる影響で地区内外の行事が中止となったため、5月第11号と6月第12号に掲載予定してございました各種行事報告の掲載はございません。ご理解ご了承のほど何卒宜しくお願い致します。



新会員紹介



藤本 弘信
 徳山東
 2020年3月4日
 仏教



毛利 久夫
 岩国中央
 2020年4月1日
 小児科医



山元 祥輝
 岩国中央
 2020年4月1日
 歯科医



山崎 浩一
 柳井
 2020年3月3日
 飲食・観光



眞田 和孝
 柳井
 2020年3月3日
 情報誌・制作・企画



安田 豊
 柳井
 2020年3月3日
 キリスト教牧師



石原 健
 広島中央
 2020年2月10日
 都市開発



中村 光治
 広島西
 2020年4月2日
 不動産貸付業



小中 俊宏
 福山
 2020年3月2日
 旅行業



安武 弘志
 福山
 2020年3月30日
 一般送配電事業

Rotary
 District 2710



2020-2021 国際ロータリー第2710地区

地区大会in防府

2020. 10.24(土)・25(日)

国際ロータリー第2710地区
 2020-2021年度ガバナー …………… 脇 正典

ホストクラブ …………… 防府ロータリークラブ

1日目 10.24(土)

大会諸委員会、歓迎昼食会、会長幹事会、基調講演
 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
 日韓交流パーティー【防府グランドホテル】

2日目 10.25(日)

本会議、記念講演会「東京大学史料編纂所教授 本郷和人氏」【防府市公会堂】
 大懇親会【ソルトアリーナ】



記念
 講演



東京大学史料編纂所 教授
 ほんごう かずと
本郷 和人氏

〈ロータリーの友事務所からのお知らせ〉

緊急事態宣言発令を受け、5月号の製作予定が維持できなくなり、5・6月号を合併号とすることにいたしました。
 6月第2週には全国のクラブへ配送すべく、関係機関との調整を続けておりますのでご了承ください。